

公民館を核とした

新しい絹二

山口縣德山市櫻木公民館

徳山市によると

徳山は戦前 工業都市として発展してきましたが、終戦の年の七月、B29大編隊の空襲によ

り、市街地の九割を焼失しました。が、戦後たゞましく復興し、昭和三十年代より周南石油化学校コンビナートとして躍進を続けてきました。市民生活の面では、全国に先駆けて、コミュニティづくりに取り組み、「緑と文化と活力にみちあふれた中核都市」をめざして、市民すべてが「温かい心で幸せな家庭と住みよい地域づくり」を目指として努力してまいりました。

二
桜木公民館のあれこれ

徳山市街地の北東部にある桜木地区は、昭和三十年から七年間かけて開発された「周南団地」の造成によつて生まれた閑静な住宅地です。地区の人口は約六、五〇〇人、世帯数は二、三〇〇世帯です。地区内には、保育園・幼稚園・小学校のほかに、国立徳山工業高専、徳山女子短大、徳山大学などの多様な教育機関があるの

な経緯のため、昔からの自然、地形の遺跡が一

部の片鱗を残して面影を失い、古い神社跡や無形の民話、伝統、風習まで地中に埋没し、情緒乾燥地帯の空しい感が抱かれていました。

しかし「このままではいけない」「温かく思
いやりのある心情を育み」「ふるさとの生活に
幸せを感じ」、「地区に誇りを持ち郷土愛旺盛な

地域社会の形成」をめざして何とかしなければ……の思いが、コミュニティ進展とともに輪を広げ始めてきました。（略）

この地区に居を構えて移り住んだ人々、なが
んずく桜木地区で生まれ、桜木小学校を母校と
して育つこ子どもたちにとっては、この桜木地

して育った子とおなじにとては、この格好地
区こそかけがえのない「わが郷土・わがふるさ
と」ではないか。このような熱い想いが、郷土

のシンボル「夢とロマンの『とおの山』」の開発に向かって結集されていきました。

事業として、平成元年から着手し、多くの困難を克服しながら、延べ八〇〇人のボランティアの尊い汗と力によって、平成三年に完成を見る

にいたりました。遠く南北朝時代、陶氏の山城の置かれた史跡
豊かなこの山の山頂に立つと、眼下に周南一帯
二七〇度の大パノラマが広がり、徳山湾の島々
から、九州の国東半島まで、すばらしい眺望が
開けています。

現在でも、地区住民が一体となつて、登山道や山頂の整備、巡回等にあたり、また新春登山

が特色です。

当初、住民の大部分は、他地区からの転入者でしたが、二十余年たった今、公民館と自治会、各種関係団体が相互に連携をとりながら、ふれあいを基調とした積極的な地域活動を展開し、心の通う住みよいまちづくりに取り組んできました。すなわち、当館は、昭和五十七年の新設開館以来、最大の課題として、「新しい郷土づくり」を取り上げ、地域住民と一体になって実践してきましたが、その成果が認められ、平成六年度、第四七回全国優良公民館表彰を受ける栄に浴しました。

きる雰囲気づくりを大切にしております。
通常の業務としての、趣味・文化教養の講座は、性別・年代別・昼夜別など利用者のニーズに応じて三八コマを開講しております。また、公民館が主催して、家庭教育学級・福祉ボランティア講座・健康・安全・保健等の学習会、同和問題を考える集いなどを開催しております。
そのほかに、各種団体と協力して行うたくさんの行事やイベントなどを含めて、一人当たり年間利用率七・五は、地域における公民館の果たす役割の大きさを示しています。

（地域連帯意識の形成をめざして）
新興住宅地の桜木地区は、当初他地区からの転入者が多く、ふるさと意識や住民の連帯感・協調性に希薄さが見られました。そこで、昭和五十七年桜木公民館がつくられると、ここを拠点にした社会教育活動、コミュニティ活動が盛んに展開されました。公民館は常に「新し」ハ郷

「土づくり」のための先導的役割を果たし、心の通う温かいまちづくりの推進に寄与してきたわけです。

以下、当公民館を中心とした新しい郷土、「さくらぎ」の形成をめざして取り組んだ六つの特

色ある事業を紹介いたします。
(1) 新しいふるさとの創生
「郷土のシンボル「とおの山」の開発」
桜木地区は、丘陵山地を削り、古くからの田畠耕地等を埋め、団地造成を行つたという特別

地区画整理事業は、従前の自然・人文景観を激

「昔」からの自然いっぱいの丘陵地帯、田畠農耕地・道・水路・河川等の地形は跡かたもなく消え去り、昔から住民が五穀豊穢祈願に敬虔な信仰を捧げてきた山の神、農の神、風水の神などの「社・祠」などもほとんど散去され、あ

るいはほかの地に移されました。これに並行して四季折々に地元で行われてきた祭祀行事や、関連する伝承風習も廃れました。埋もれ消えた昔の自然、遺跡、風習、伝承は今探訪して記録として残さないと、全く消滅す

「ふるさと探訪」が始まりました。

古くから地区在住の旧家・古老を訪問して多岐にわたる実態調査・考証が続けられ、一つの記録がまとまるごとに「公民館だより」に掲載することになるという危機感から有識者による「ふるさと探訪」が始まりました。

したものを、桜木公民館開館一〇周年にあたる平成四年に冊子にしました。

ークラリーコースを設定し、子ども会や家族ぐるみのふるさと探訪に役立ててもらっています。

して、二〇分もののコミュニティビデオ「私たちのふるさと、燐く桜木'95」を作成いたしました

4) 公民館だよりの継続定期発行

徳山市の概要	
①市町村名：山口県徳山市	
面 積：340.06 (km ²)	
②人口：	平成2年10月1日
	現在の人口 : 109,265人
	65歳以上の人団： 14,779人 (13.5%) (世帯数：42,233)
③産業別就業率：	第1次産業： 5.5% 第2次産業： 31.2% 第3次産業： 62.9%